

# みえ地震対策の日 シンポジウム

昭和東南海地震・津波による被害状況（尾鷲市内）

写真提供：太田金典氏

## ～過去の震災から学び、未来に活かす～

三重県では、昭和東南海地震が発生した12月7日を「みえ地震対策の日」と定めています。

今回のシンポジウムでは、「過去の震災から学び、未来に活かす」をテーマとして、東日本大震災や熊本地震に関する講演や体験談に加え、これらの地震の体験者、郷土史家、行政関係者によるパネルディスカッションを通じて、今後の私たちの地震・津波対策のあり方を考えます。



鳥羽市国崎町常福寺境内にある津波流失塔。1854年安政東南海地震の際に、この地を襲った津波や被害の様相が記されている。

入場無料(定員500名) | 事前に参加申込みをお願いします(締切12月6日) | 手話通訳・要約筆記あり

日時  
会場

平成29年 **12月10日(日)** 13:00～16:30 (開場 12:00)

鳥羽市民文化会館大ホール (鳥羽市鳥羽3丁目8-3)

※鳥羽市に「大雨」「洪水」または「暴風」警報が発表されている場合や、県内に震度5弱以上の地震が観測され、災害対策本部を設置している場合など、やむを得ずシンポジウムを中止する場合があります。ご了承ください。

次第

### 1 開会挨拶

三重県知事 鈴木 英敬  
三重大学学長 駒田 美弘  
鳥羽市長 中村 欣一郎

### 2 みえの防災大賞表彰式

### 3 基調講演

#### 「三重県の地震・津波防災のために」

～2011年東日本大震災津波・2016年熊本地震の教訓～

講師 都司 嘉宣 氏  
公益財団法人深田地質研究所 客員研究員  
国立研究開発法人建築研究所 特別客員研究員

### 4 語り部トーク

- (1) 「地震によるコミュニティの絆と課題」  
阿蘇復興への道 井手 良輔 氏
- (2) 「震災を経験して伝えたいこと」  
～中学生視点で見た東日本大震災～  
四日市東日本大震災支援の会 安田 要 氏

### 5 パネルディスカッション

#### 「過去の震災から学び、未来に活かす」

パネリスト 野村 史隆 氏 (鳥羽市教育委員会 文化財専門員)  
中村 欣一郎 (前掲)  
井手 良輔 氏 (前掲)  
安田 要 氏 (前掲)

コメンテーター 都司 嘉宣 氏 (前掲)  
コーディネーター 川口 淳 (三重大学大学院工学研究科 准教授)

### 6 閉会挨拶

鶴岡 信治 (みえ防災・減災センター センター長)

#### みえ防災・減災アーカイブ

体験  
コーナー

会場内設置のパソコン・タブレットで、防災・減災に関する様々な情報を実際にご覧いただけます。

主催 | みえ防災・減災センター、三重県、三重大学 共催 | 鳥羽市、津地方気象台

お申し込みについて、詳しくは裏面をご覧ください。

お問い合わせ  
お申し込み先

みえ防災・減災センター

☎: 059-231-5694 FAX: 059-231-9954

〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
三重大学 地域イノベーション  
研究開発拠点A棟3階

E-mail: bosai@crc.mie-u.ac.jp

midimic  
mie disaster mitigation center

## 講師紹介

都司 嘉宣 (つじ よしのぶ) 氏

公益財団法人深田地質研究所 客員研究員  
 国立研究開発法人建築研究所 特別客員研究員  
 専攻：津波・高潮・古地震

1947年9月 奈良県生まれ。1972年東京大学理系大学院地球物理学専攻修士修了。理学博士。東京大学地震研究所 津波高潮部門助教授、東京大学地震研究所 地震火山災害部門助教授、東京大学地震研究所 地震火山災害部門准教授を経て、現職に至る。

主な著書に「沿岸災害の予知と防災（共著／白亜書房,1987）」、「地震と断層（共著／東京大学出版会,1994）」、「古地震を探る（共著／古今書院,1995）」、「千年震災（ダイヤモンド社,2011）」、「歴史地震の話—語り継がれた南海地震（高知新聞社,2012）」がある。2002年から産経新聞、「温故地震」（月1回）を連載中。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の際にはNHKやTBSなどで解説。



## 会場案内

**臨時駐車場周辺地図**

【会場までのご案内】

- ★ 近鉄・JR鳥羽駅から、徒歩10分
- ★ 車でお越しの方は、保健福祉センターひだまり前の無料駐車場をご利用ください。
- ※鳥羽バスセンター及び駐車場から会場までは無料シャトルバスを運行します（11：30から17：30まで 随時運行）

## 申込方法

### ●郵送・E-mail

「みえ地震対策の日シンポジウム参加申込」と記載のうえ、①お名前（ふりがな）、②連絡先（電話番号・メールアドレスなど）を明記し、下記住所またはE-mailアドレスまでお送りください。

### ●FAX

以下の「参加申込書」に必要事項を記入し、下記FAX番号までお送りください。

※お申し込み受理の連絡等はいりません。当日会場へお越しください。

## みえ地震対策の日シンポジウム 参加申込書

●お名前	ふりがな ( )	代表者以外の参加人数  名  ご同行者のいる場合にご記入ください。
●電話番号		
●E-mail		
送り先		
E-mail : bosai@crc.mie-u.ac.jp		FAX : 059 - 231 - 9954
〒514-8507 津市栗真町屋町1577 三重大学地域イノベーション研究開発拠点A棟3階 みえ防災・減災センター		

※ご記入いただいた個人情報につきましては、当シンポジウムでのみ使用し、その他の目的で利用することはありません。